



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月14日

上場会社名 藤倉ゴム工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5121 URL <https://www.fujikurarubber.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 健司  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 植松 克夫 (TEL) 03-3527-8111  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	24,927	△1.5	951	△53.3	1,088	△51.0	768	△54.2
2018年3月期第3四半期	25,317	13.4	2,038	57.7	2,223	60.1	1,676	59.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 224百万円(△86.5%) 2018年3月期第3四半期 1,659百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	32.84	—
2018年3月期第3四半期	71.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	35,701	25,243	70.7
2018年3月期	36,392	25,346	69.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 25,243百万円 2018年3月期 25,346百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2019年3月期	—	7.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,400	△1.2	1,100	△45.0	1,300	△31.6	1,000	△33.3	42.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2019年2月14日)公表いたしました「2019年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	23,446,209株	2018年3月期	23,446,209株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	49,354株	2018年3月期	49,350株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	23,396,859株	2018年3月期3Q	23,396,957株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、雇用環境や個人消費について緩やかな回復基調で推移しました。しかし、英国のEU離脱交渉の不確実性や、米中の貿易摩擦による海外経済の不安から景気の先行きについては、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループでは、2018年6月28日開催の第139回定時株主総会において、「藤倉コンポジット株式会社（英文：FUJIKURA COMPOSITES Inc.）」へ商号変更することについて決議されました。なお、商号変更は2019年4月1日を予定しております。また、2018年7月26日開催の取締役会において、原町工場（福島県南相馬市）の敷地内に工場建屋を新設することを決議いたしました。今後、医療用ゴム製品などの生産拡大、および管理部門の集約に伴う作業効率の改善を図ってまいります。さらに、小型でパーソナルユースに利用できる非常用モバイル充電器『アクアチャージ®』を開発するなど、新製品開発にも積極的に取り組んでおります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は249億2千7百万円（前年同四半期比1.5%減）、営業利益は9億5千1百万円（前年同四半期比53.3%減）、経常利益は10億8千8百万円（前年同四半期比51.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億6千8百万円（前年同四半期比54.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### <産業用資材>

工業用品部門は、国内においては自動車、住宅機器、設備投資関連など総じて好調だったものの、海外において北米の自動車部品メーカーの在庫調整や中国市場の減速の影響を受けたことに加え、材料費、運賃が値上がりしたため減益となりました。制御機器部門は、引き続き液晶・半導体関連メーカーの設備投資が減速、さらに産業機械メーカーも低調となった影響を受け減益となりました。電気材料部門は、電力・情報通信などのインフラ工事用部材の受注が順調に推移し増益となりました。

この結果、売上高は160億7千9百万円（前年同四半期比0.9%減）、営業利益は5億7千万円（前年同四半期比55.6%減）となりました。

#### <引布加工品>

引布部門は、高耐熱ゴムシート、電気電子製品向けゴムシートが好調だったものの、自動車市場が低迷し減益となりました。印刷材料部門は、高付加価値製品に支えられて売上を維持しましたが、製造費用が増加したため減益となりました。加工品部門は、国内外において救命設備など舶用品が好調で増益となりました。

この結果、売上高は38億4千9百万円（前年同四半期比6.1%増）、営業利益は2億9百万円（前年同四半期比21.6%増）となりました。

#### <スポーツ用品>

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、8月に発売した「Speeder EVOLUTION V」などのシャフトが多くのプロゴルファーに使用され、ほとんどのゴルフクラブメーカーに採用されておりますが、一部ゴルフクラブメーカーの発売が今春に集中したことにより減益となりました。アウトドア用品部門はキャラバンシューズやJack Wolfskinなどの主力商品が下支えとなったものの、全体の需要が停滞したため減益となりました。

この結果、売上高は47億1千万円（前年同四半期比9.3%減）、営業利益は5億1千6百万円（前年同四半期比43.4%減）となりました。

#### <その他>

物流部門は、自然災害による交通機関の混乱、人手不足の影響などで低迷していた荷動きが回復し、荷役作業の増加などにより増益となりました。

この結果、売上高は2億8千8百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益は5千9百万円（前年同四半期比2.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6億9千1百万円減少の357億1百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ5億8千7百万円減少の104億5千7百万円となりました。純資産につきましては、252億4千3百万円となり、これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の69.6%から70.7%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月15日に公表いたしました業績予想のうち、通期連結業績予想を下表のとおり修正いたしました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	33,800	2,000	1,900	1,500	64円11銭
今回修正予想 (B)	33,400	1,100	1,300	1,000	42円74銭
増減額 (B - A)	△400	△900	△600	△500	—
増減率 (%)	△1.2	△45.0	△31.6	△33.3	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	33,958	2,259	2,433	1,739	74円34銭

詳細につきましては、本日 (2019年2月14日) 公表いたしました「2019年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,601,571	4,994,753
受取手形及び売掛金	10,175,191	9,974,371
商品及び製品	2,308,578	2,038,626
仕掛品	2,210,322	2,492,289
原材料及び貯蔵品	780,280	788,298
その他	644,986	862,323
貸倒引当金	△26,689	△22,632
流動資産合計	21,694,240	21,128,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,112,216	4,869,957
機械装置及び運搬具（純額）	3,032,244	2,964,594
土地	3,182,345	3,217,525
建設仮勘定	786,583	844,043
その他（純額）	387,672	440,006
有形固定資産合計	12,501,061	12,336,127
無形固定資産		
ソフトウェア	135,650	132,810
その他	207,734	176,767
無形固定資産合計	343,384	309,578
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,900,410	1,970,760
貸倒引当金	△46,521	△43,185
投資その他の資産合計	1,853,889	1,927,575
固定資産合計	14,698,335	14,573,280
資産合計	36,392,576	35,701,310

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,618,780	2,098,788
短期借入金	3,184,585	2,795,301
未払法人税等	292,104	82,043
賞与引当金	440,004	177,628
その他	1,583,415	1,482,794
流動負債合計	8,118,889	6,636,556
固定負債		
長期借入金	1,290,000	2,107,500
環境対策引当金	29,513	29,513
退職給付に係る負債	954,367	942,286
資産除去債務	176,947	180,097
その他	475,869	561,921
固定負債合計	2,926,697	3,821,319
負債合計	11,045,587	10,457,876
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,804,298	3,804,298
資本剰余金	3,212,485	3,212,485
利益剰余金	17,149,246	17,590,116
自己株式	△20,396	△20,398
株主資本合計	24,145,633	24,586,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	436,694	273,567
為替換算調整勘定	977,402	574,424
退職給付に係る調整累計額	△212,742	△191,059
その他の包括利益累計額合計	1,201,354	656,932
純資産合計	25,346,988	25,243,434
負債純資産合計	36,392,576	35,701,310

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	25,317,237	24,927,075
売上原価	18,563,646	18,860,460
売上総利益	6,753,590	6,066,614
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	462,230	414,618
給料及び手当	1,552,098	1,627,278
賞与引当金繰入額	25,139	19,520
退職給付費用	74,848	72,238
減価償却費	102,262	109,418
研究開発費	524,409	558,082
その他	1,974,060	2,313,705
販売費及び一般管理費合計	4,715,048	5,114,861
営業利益	2,038,541	951,753
営業外収益		
受取利息	5,490	6,067
受取配当金	52,064	52,474
為替差益	35,476	20,349
受取賃貸料	32,947	34,315
補助金収入	32,507	17,790
その他	95,354	67,080
営業外収益合計	253,841	198,078
営業外費用		
支払利息	22,621	15,698
賃貸収入原価	10,330	9,364
固定資産除却損	5,560	7,264
その他	30,545	28,801
営業外費用合計	69,058	61,129
経常利益	2,223,324	1,088,702
特別利益		
投資有価証券売却益	4,785	—
特別利益合計	4,785	—
特別損失		
固定資産廃棄損	—	32,514
特別損失合計	—	32,514
税金等調整前四半期純利益	2,228,109	1,056,187
法人税、住民税及び事業税	443,929	158,865
法人税等調整額	107,981	128,895
法人税等合計	551,911	287,760
四半期純利益	1,676,198	768,426
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,676,198	768,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134,383	△163,127
繰延ヘッジ損益	△202	—
為替換算調整勘定	△206,422	△402,978
退職給付に係る調整額	55,194	21,683
その他の包括利益合計	△17,047	△544,422
四半期包括利益	1,659,150	224,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,659,150	224,004



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注)2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	16,219,142	3,628,908	5,194,096	275,089	25,317,237	—	25,317,237
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	94,585	94,585	△94,585	—
計	16,219,142	3,628,908	5,194,096	369,674	25,411,823	△94,585	25,317,237
セグメント利益	1,284,809	172,346	911,571	57,616	2,426,343	△387,802	2,038,541

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去381千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△388,184千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注)2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	16,079,750	3,849,193	4,710,038	288,092	24,927,075	—	24,927,075
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	88,087	88,087	△88,087	—
計	16,079,750	3,849,193	4,710,038	376,180	25,015,162	△88,087	24,927,075
セグメント利益	570,871	209,533	516,385	59,237	1,356,028	△404,275	951,753

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去327千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△404,602千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。